

★ 緊急の連絡先やメールアドレス等が変更となった場合は、お手数でも必ず保育園まで連絡をお願いします。

いざというときの連絡に備えて、何卒ご協力ください。

★ 「お迎えカード」の携帯、引き続きよろしくお願いします！

お互いの安心・確認のために、お互いが気をつけましょう！！
慣れてくると、どうしてもルーズになりがちです。少しの意識、気配りを、よろしくお願いします！

★ 「コロコロライブラリー」に新しい本が入りました！

年数の経過と共に、どうしても本が傷んでいきます。特に人気のある本は、殊更です。そこで、買い直しの本を中心に、今回40冊の本を保護者会費より購入していただきました。子どもたちのために、いつもありがとうございます。
この時期の絵本との出会いは、その後のその子の人生を豊かにしてくれると言っても、決して過言ではないと思います。みなさんの貴重な共有財産を、是非大切に活用していただけると幸いです。

★ 今後の予定より...

☆ 5歳児 筑波山登山 10/14 (水)

※ 雨天の場合は、11/6 (金) となります。

● つつじヶ丘から自分の足で女体山の山頂を目指します！下りはケーブルカーにて筑波山神社へ。年長児ならではの行事です。詳しいことにつきましては、後日ぞうグループの皆さんにお知らせを配布しますので。

☆ わくわくフェスティバル(運動会) 10/31 (土) 8:50~12:00(予定)

牛久運動公園多目的グラウンドにて

※ 雨天の場合でも、牛久運動公園サブアリーナにておこないます。

みなさんで、心はずませて、つながって、楽しいひとときになりますように！

☆ おじいちゃん・おばあちゃんに手紙を出しますよ。

● 「敬老の日」に向けて、おじいちゃん、おばあちゃんへ手紙を出したいと思っています。詳しいことにつきましては、後日お知らせを配布させていただきますので、何卒ご協力ください。

9月の園だより

H27. 9. 1

ふたばランド

ふたばランド保育園

牛久市中央5-5-2 tel.029-873-5528 ip phone.050-3428-9254

「夏祭り」の無事の終了、何よりです！ 夏祭り執行委員の皆様、保護者会役員の皆様をはじめ、快くお手伝いを引き受けてくださった方々、陰で支えて下さった方々、そして「にこやか」かつ「和やか」に参加して下さった皆様、本当にありがとうございます。

大人も子どもも、実際にやってみて初めて分かること、参加したからこそ味わえることが多々あるかと思いますが、いすれにしても、子どもたち一人一人の成長に加えて、ふたばランドに集う皆さんの心と心がより一層つながる一連の活動になったとしたら、この上ない喜びです。

当日残念ながら参加できなかった方も、次の機会を是非お楽しみに！

今年も、保護者会で企画して下さる「夏祭り」の機会をきっかけとして、園内では「なつまつり」がロングランで展開されてきました。屋台ごっこでの言葉や品物のやりとりを通して人と関わる楽しさを味わったり、年上の子の姿を真似ることで学びが始まりたりしています。そして、お神輿製作やお神輿担ぎ、太鼓演奏の活動を通じて、セルフコントロールとポティーコントロールをしながら人と協同・協調することの大切さを実感する瞬間も持てたようです。

いすれにしても、みんなで繰り返し積み重ねている活動を通して、人と人が相和しながら活動していくことの尊さ・心地よさが、子どもたちの心の中に染み込み、自然な価値観として根づいていくことを、ひたすら願っています。

今月の予定

交通安全教室

9/8 (火) 13:30~



● 今月は、「一時停止」について、転がしドッジボールを楽しみながら意識づけしていただきます。生活習慣の「自立」と共に、「気持ちのコントロール」=「自律」が、日々の何気ないことの積み重ねを通してしっかりと根づいていくよう意識していきたいものですね。

カレーライスの日

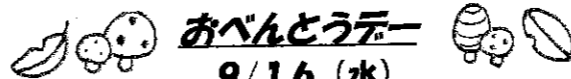
9/10 (木)



● みんなで力を合わせて作るからこそ、格別な味のカレーになるのでしょうか！
そして、有能感を感じながらみんなで楽しくいただく体験が、何より重要だと思います。
※ そらぐみ、たいようぐみのお友だちは、今回もエプロンと三角巾を忘れずに！
自分自身の手で用意ができますように。

おべんとうデー

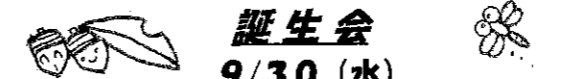
9/16 (水)



● 今月も、子どもたちのためにどうぞよろしくお願いします！
■ 熱いままフタをせず、中味をよく冷ましてからフタをしてください。
■ お弁当箱の上に小さな保冷剤を載せるなど各ご家庭で、十分にご配慮ください。

誕生会

9/30 (水)



● さあ、今月は9月生まれのお友だちをみんなでお祝いします！
友だちのことを自分のことのように一緒に喜んだり、悲しんだりできる気持ちを大切に育てたいものです。

★ 9月1日の「防災の日」にちなんで、この日の給食のメニューは備蓄用米とレトルトカレーです。園庭にてお湯を沸かし、ご飯とカレーを温めます。

「いじめ」や、場合によっては、最悪、死に至ってしまうような事件など、子どもたちの周りで起こっている問題に触れるたびに感じること、それは、「子どもの姿は、大人(社会)の姿」、「子どもの問題は、大人の問題」ではないか、ということだ。

やさしく育てなければ、やさしい子には育ちません。思いやりを持って育てなければ、人を思いやることのできる子は育ちません。叱難ばかりされながら育つてば、知らず知らずのうちに人を叱難ばかりする子になるでしょう。

どんな子どもにも育てて欲しいのか、そして、その願いに向かつてどう関わっていくのか。そこがとてつもなく重要なポイントです。

とは言え、子どもたちは、決して大人の思っている通りに育つとは限りません。むしろ、大人の一方的な願いは、聴き入れない傾向にあるかも知れません...

しかしながら、如何でしょうか。小さい大人との都合ばかりを押し付けて、子どもたちの生活を振り回してはいませんか。これも仕方ないと言いつつ、結果として子どもが直接体験しながら感動を得る絶好の機会を奪うようなことになっていたりしていませんか。はたまた、子どもが喜ぶし静かにしてくれて助かるからと言いつつ、ゲームやビデオの視聴で、脳の活性化を妨げたりの、心情を育てる人との関わりの機会を平気で消失させてはいませんか。たとえ玩具や外出等で、ある意味の物欲を満足させてたとしても、心の健全な育ちはどうなのでしょう。

真の意味で、子どもたちをしっかりと「育む」=羽包む(はくむ)ことのできる大人(社会)の姿や意識でありたいものです。